

稲荷山公園を拠点に大規模な下水道管を設置して、豪雨災害からまちを守る

雨水バイパス管工事が進行中!

～令和5年(2023年)度中に第1期工事を完成予定～

稲荷山公園を基点に、大規模な下水道管を設置するシールド工事が慎重に進められており、現在、第1期が大詰めを迎えています。

そもそも...

浸水対策って??

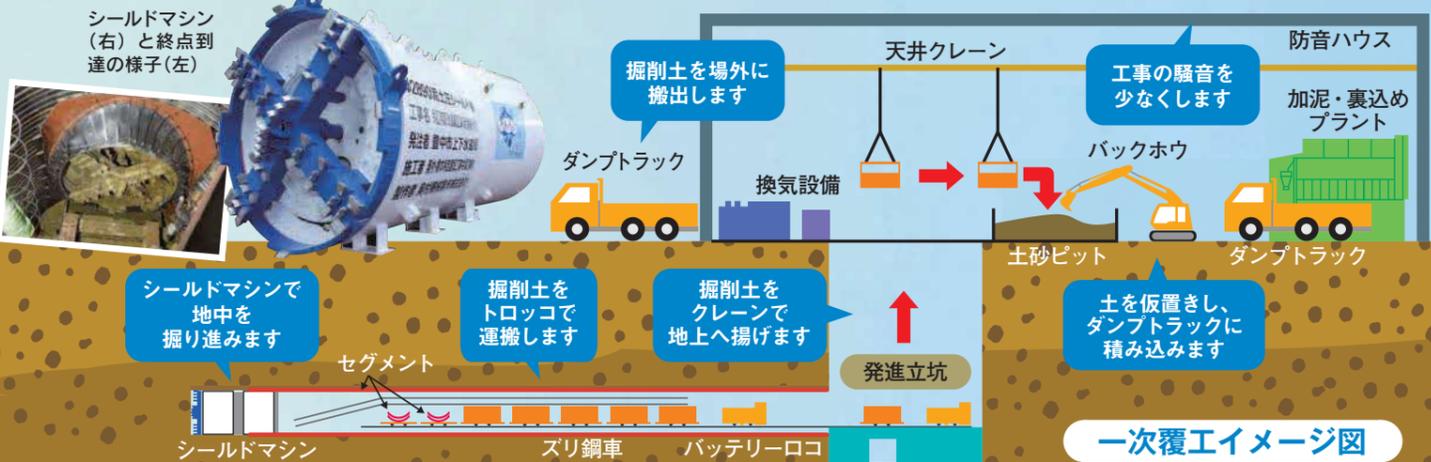
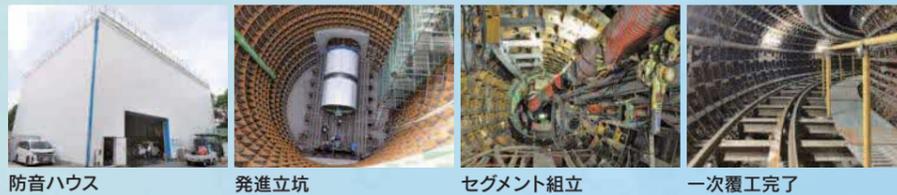
大雨や台風によって下水道管や水路で雨水を十分に流せなくなったり、河川氾濫が起こったりすることで、浸水被害が発生します。市ではこれまでも、雨水を一時的に貯留させる施設を整備したり、雨水バイパス管を新たに設置したりするなどの対策を進めてきました。

2

シールド工法って?

豊中の道路の下を“鉄のモグラ”が掘り進む

新免幹線の整備には、「シールド工法」という施工方法を採用しています。“鉄のモグラ”と呼ばれるシールドマシンでトンネルを掘りながら下水道管となる外枠(セグメント)を設置する作業(一次覆工)と、下水を流せるようにトンネルの内側をコンクリートで仕上げる作業(二次覆工)によって、管を完成させる工法です。鉄道等のトンネル工事にも用いられています。



一次覆工イメージ図

1

今回設置する管の役割は?

雨水をため込み、浸水被害を軽くする

すでに埋まっている下水道管の流す力が大雨により追いつかない場合に、雨水を別ルートへ誘導し、一時的に水をためる貯留型の雨水バイパス管「新免幹線」を整備する工事を行っています。“新免”とは、豊中駅周辺の古い地名。下水道事業計画を策定したときに用い

られていたものがそのまま残されました。“新免”エリアは過去にも大雨によって大規模な浸水が発生しており、ハザードマップでも浸水想定エリアになっています。現在工事を進めている「新免幹線」の整備により、同エリアの浸水被害が軽減します。



3

工事の進み具合は?

来年から稲荷山公園～豊中高校に着手予定

新免幹線の第1期工事は現在、一次覆工が完成し、二次覆工を実施しています。令和6年(2024年)からは、稲荷山公園から豊中高校にかけての

路線に着手する予定です。豊中市上下水道局のホームページには、工事の進捗を写真と一緒に掲載し、随時更新しています。ぜひご覧ください。

CHECK
工事の状況や進捗がこちらから見られます
豊中市 新免幹線 🔍 検索

二次覆工イメージ図



完成!

大雨に対する日ごろからの備えも大切です!

住居周りの点検をしましょう

道路側溝の上にもものを置くなどして覆ってしまうと、雨水が流れ込みにくくなります。また、道路側溝から下水道管へ雨水が流れ込むところ(雨水ます)に落ち葉やごみがたまるないように、掃除にご協力ください。



大雨の際は情報収集をしましょう

台風がもたらす大雨のように予測がある程度できるものと、突然の集中豪雨のように予測のしにくいものがあります。インターネット等からの情報入手先を調べておくことが有効です。



上下水道局ホームページから、お住まいの地域の雨量情報がわかります